

# 手続補正書(法第11条の規定による補正)



特許庁長官 殿

1. 国際出願の表示 PCT/JP03/09651

2. 出 願 人

名 称 株式会社コーセー

KOSE CORPORATION

あて名 〒103-8251 日本国東京都中央区日本橋3丁目6番2号

6-2, Nihonbashi 3-chome, Chuo-ku,

Tokyo 103-8251 JAPAN

国籍 日本国 JAPAN

住 所 日本国 JAPAN

3. 代 理 人

氏 名 110000109 特許業務法人特許事務所サイクス

SIKs & Co.

あて名 〒104-0031 日本国東京都中央区京橋一丁目8番7号

京橋日殖ビル8階

8th Floor, Kyobashi-Nisshoku Bldg., 8-7,

Kyobashi 1-chome, Chuo-ku, Tokyo 104-0031 JAPAN

4. 補正の対象 請求の範囲

5. 補正の内容 請求の範囲第1、2、3、9、10項を補正し、第4、5、6

7、8、11、12、13、14、15項を削除する。

6. 添付書類の目録 請求の範囲第85~89頁 1通

#### 請 求 の 範 囲

### 1. (補正後) (A) 下記一般式(1):

$$R^3$$
 $R^4$ 
 $R^5$ 

(一般式(1)中、R<sup>1</sup>は一CH<sub>2</sub>OH又はCOOR<sup>6</sup>を表し、R<sup>6</sup>は水素、 炭素数が1~3の低級アルキル基又はCOO<sup>-</sup>と塩を形成し得るカチオ ンを表し、R<sup>2</sup>~R<sup>5</sup> は各々独立して水素原子又はメチル基を表し、・・・ A・・・・は=C(CH<sub>3</sub>)ー、一C(CH<sub>3</sub>)=、一C(=CH<sub>2</sub>)ー、一C H(CH<sub>3</sub>)ー又は一C(OH)(CH<sub>3</sub>)ーを表す。)で表される化合物 の1種又は2種以上と、

(B) カンゾウ抽出物、ヨクイニン抽出物、ブラックカラント(クロフサスグリ)果実抽出物、センプクカ(オグルマ)抽出物、クランベリー果実抽出物、ケイケットウ抽出物、サボテン抽出物、羅漢果抽出物、アスタキサンチン及びその誘導体からなる薬効剤群より選ばれる1種又は2種以上とを含有する皮膚外用剤。

### 2. (補正後) (A) 下記一般式(1):

$$R^{3}$$
 $R^{2}$ 
 $R^{1}$ 
 $R^{4}$ 
 $R^{5}$ 

(一般式(1)中、R<sup>1</sup>は一CH<sub>2</sub>OH又はCOOR<sup>6</sup>を表し、R<sup>6</sup>は水素、 炭素数が  $1 \sim 3$  の低級アルキル基又はCOO<sup>-</sup>と塩を形成し得るカチオ ンを表し、R<sup>2</sup>~R<sup>5</sup> は各々独立して水素原子又はメチル基を表し、・・・ A・・・は=C(CH<sub>3</sub>)ー、一C(CH<sub>3</sub>)=、一C(=CH<sub>2</sub>)ー、一C H(CH<sub>3</sub>)ー又は一C(OH)(CH<sub>3</sub>)ーを表す。)で表される化合物 の1種又は2種以上と、

(B) カンゾウ抽出物、ヨクイニン抽出物、ブラックカラント(クロフサスグリ)果実抽出物、センプクカ(オグルマ)抽出物、クランベリー果実抽出物、ケイケットウ抽出物、サボテン抽出物、羅漢果抽出物、アスタキサンチン及びその誘導体からなる薬効剤群より選ばれる1種又は2種以上とを含有する美白用皮膚外用剤。

## 3. (補正後) (A) 下記一般式(1):

$$R^3$$
 $R^4$ 
 $R^5$ 

(一般式(1)中、R<sup>1</sup>はーCH<sub>2</sub>OH又はCOOR<sup>6</sup>を表し、R<sup>6</sup>は水素、炭素数が1~3の低級アルキル基又はCOO<sup>-</sup>と塩を形成し得るカチオンを表し、R<sup>2</sup>~R<sup>5</sup>は各々独立して水素原子又はメチル基を表し、・・・A・・・は=C(CH<sub>3</sub>)ー、一C(CH<sub>3</sub>)=、一C(=CH<sub>2</sub>)ー、一CH(CH<sub>3</sub>)ー又は一C(OH)(CH<sub>3</sub>)ーを表す。)で表される化合物の1種又は2種以上と、

(B1) サボテン抽出物、アスタキサンチン及びその誘導体からなる薬 効剤群より選ばれる1種又は2種以上とを含有する老化防止用皮膚外 用剤。

- 4. (削除)
- 5. (削除)
- 6. (削除)
- 7. (削除)
- 8. (削除)
- 9. (補正後) 前記一般式 (1) で表される化合物が、ハンニチバナ科のCistus ladaniferus L.、Cistus creticus L.、Cistus monoperiensis L. 及びCistus salvifoliusからなる植物体群から選ばれる1種又は2種以上の植物体から抽出された化合物、又は該化合物から調製された化合物である請求の範囲第1項~第3項のいずれかの皮膚外用剤。
- 10. (補正後) 前記一般式 (1) で表される化合物を含有する、ハンニチバナ科のCistus ladaniferus L.、Cistus creticus L.、Cistus monoperiensis L. 及びCistus salvifoliusからなる植物体群から選ばれる1種又は2種以上の抽出物を配合してなる請求の範囲第1項~第3項のいずれかの皮膚外用剤。

- 11. (削除)
- 12. (削除)
- 13. (削除)
- 14. (削除)
- 1.5. (削除)